

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2015年2月2日10時05分付け) 検疫本部、犬でAI (H5N8) ウイルス検出を確認

出典URL: http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155446429§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2012&month=&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

農林畜産検疫本部(ジュ・イソク本部長)は、1月23日、AIが発生した慶尚南道固城(コソン)郡の肉用あひる農家で飼育されていた犬の鼻腔からH5N8ウイルスを分離したと明らかにした。

○該当農家は、1月23日、肉用あひるに対すると畜出荷前の検査でAIウイルスが確認され、これに伴い、農場内で飼育中の犬3匹に対する検査を実施した結果、1匹からAIウイルスが検出された。

○試料採取当時、3匹全てに臨床症状はなく、他の2匹については抗原・抗体がないことから、犬の間での接触による伝播はないと判断される。

*2014年、AI発生農家で飼育中の犬の精密検査の結果、23件の農家の55匹からH5抗体を確認

**2015年は8件の農家で24匹の検査を実施した結果、全て抗体は非検出

農林畜産検疫本部は、犬からAIが確認されたことは、感染した家さんから犬にウイルスが汚染したと判断されるので、農家で斃死した鶏やあひるを餌に使われないよう注意することを要請した。

(本情報は、韓国農林畜産食品部が、2月2日に公表した情報について、機械翻訳等に基づき仮訳を作成したもの。)